

2024 年度事業計画について

## I 2024 年度基本方針

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、長らく停滞を続けていた社会経済活動は、2023 年 5 月に新型コロナウイルスが 5 類感染症に移行したことに伴い、人々の動きが活発になり街に活気が戻ってきた。

ショッピングセンター(以下、SC)も、来館者数は回復傾向にあり、SC年間売上高は 2019 年比 96%とコロナ禍前の状況に戻りつつある。

しかしながら、SC業界は少子高齢化による人口減少の加速と人手不足の深刻化、コロナ禍を経て急速に変化した消費者の価値観や生活様式への対応、多発する災害や環境問題、SDGs 等の社会的ニーズへの対応など、将来に向けて大きな岐路に立っている。

これらの課題認識のもと、2024 中期運営計画の初年度にあたる 2024 年度は、「人材育成」「研鑽・交流」「情報収集・発信」を柱とする各事業を時代背景に合わせて強化し、会員が有する諸課題の解決に取り組むとともに、SC業界の発展に努める。

### 1. 人手不足対策

#### (1) 「ES 宣言・行動指針」に基づく取り組みの推進

2023 年度に実施した人手不足に関するディベロッパーとテナントの議論をふまえ、各 SC における具体的な取り組みを推進する。

#### (2) 業務効率化に資するテクノロジーの活用推進

売上報告業務について標準化案を提言し、業界への浸透を図る。並行して、新たにシステム開発企業を加えて共通プラットフォームの検討に着手する。また、売上報告業務以外の業界共通課題の抽出と解決策の検討に着手する。

#### (3) SC テナントスタッフのステータス向上

SC テナントスタッフのステータス向上を目的に創設した「SC 接客マイスター」制度の価値向上に取り組む。

### 2. 次代の SC 運営

#### (1) 変化の激しい時代の SC 運営をリードする人材の育成

支部・委員会・SC 経営士会が実施する人材育成プログラムを整理し会員へ周知することで、会員企業の人材育成を支援する。また、SC 経営士会イベントのオープン化（SC 経営士以外も参加可能）を実施する。

#### (2) SC の将来に関する研究

SC 経営士会を中心に、SC の将来に関する研究に着手する。

#### (3) SC ビジネスフェアの価値向上

原点である「ビジネスチャンスの創出」を軸に、新規出展企業の誘致を行うとともに、セミナー等を通じて大きな岐路にある SC 業界に向けた情報を発信していく。

### 3. 社会・地域への貢献

#### (1) 支部活動のさらなる強化

支部間の交流や情報交換を通じ、好事例の水平展開を図る。併せて、支部とSC経営士会との連携強化に取り組み、地域の実状に応じたセミナーを開催し、支部活動の拡充を図る。

#### (2) 地域貢献や社会的な取り組みの対外的な発信

定例記者懇談会等を通じ、SCの環境対策や、防災・災害対策、地域振興など社会・地域貢献に資する好事例をマスコミ向けに発信する。また、地方のSCや単館SC等の小規模事業者とマスコミとの交流機会を試行する。また、SC大賞・地域貢献大賞の認知度・価値向上に取り組む。

#### (3) カーボンニュートラル達成に向けた業界目標の策定

世界的なカーボンニュートラルの機運の高まりや、現在参画している「低炭素社会実行計画」におけるSC業界の2030年目標が既に達成されていること等を踏まえて、同計画における目標の見直しを行い、SCにおける環境対策の強化を図る。

#### (4) 災害対応・地域貢献の強化

SCにおける災害対応や地域貢献の好事例の収集・発信や各種セミナー等を通じて、多発する災害に対するSCの事前対策、災害発生時の対応力の強化を図る。

### 4. 国等に対する税制・政策の改正要望

国等に対して、会員の諸課題を適切に捉えた税制・政策の改正を要望する。

以上の基本方針に沿って、支部、委員会、SC経営士会が積極的に活動を進める。

加えて、安定的な協会運営基盤の構築のため、新規会員の入会促進により2024年度末の会員数は940社を目指すとともに、収益構造の見直しによる財務基盤の安定化に取り組む。

## II 会議

### 1. 総会

【2024 年度】 第 52 回定期総会(2024 年 5 月 30 日)

### 2. 理事会

【2024 年度】 第 1 回理事会(2024 年 4 月 24 日)  
第 2 回理事会(2024 年 5 月 30 日)  
第 3 回理事会(2024 年 11 月 1 日)

### 3. 企画会議

【2024 年度】 第 1 回企画会議(2024 年 10 月 10 日)  
第 2 回企画会議(2025 年 3 月 25 日)

### Ⅲ 支部活動計画

支部名	活動計画
北海道支部	(1) 支部総会・研修会・懇親会(2025年3月上旬～中旬) (2) 運営委員会(第1回:7月～8月 第2回:11月～12月) (3) SC 接客ロールプレイングコンテスト北海道大会(10月10日 新さっぽろアーキシティホテル) (4) 第10回日本SC大賞・第8回地域貢献大賞ノミネート委員会(8月～11月)
東北支部	(1) 支部総会・研修会・懇親会(2025年3月上旬～中旬) (2) 運営委員会(第1回:7月8日 第2回:11月上旬) (3) 秋の研修会・懇親会 (4) SC 接客ロールプレイングコンテスト東北大会(10月30日(水)・31日(木) ホテルメトロポリタン/仙台) (5) 第10回日本SC大賞・第8回地域貢献大賞ノミネート委員会(8月～11月)
関東・甲信越支部	(1) 支部総会(2025年3月上旬～中旬) (2) 運営委員会(第1回:7月、第2回:11月) (3) SC 接客ロールプレイングコンテスト支部大会 ①東京大会 ……9月30日(月)～10月4日(金)/ムーブホール(サンポップマチヤ) ②関東・甲信越大会……11月5日(火)～8日(金)、11日(月)・12日(火)/IMAホール(光が丘 IMA) (4) 単館 SC 研究会(年間4回) (5) 支部研修会(年間2～3回) (6) 第10回日本SC大賞・第8回地域貢献大賞ノミネート委員会(8月～11月)
中部支部	(1) 支部総会・研修会・懇親会(2025年3月) (2) 運営委員会(第1回:7月、第2回:12月) (3) セミナー(12月) (4) SC 接客ロールプレイングコンテスト中部大会(9月11日～13日/JRゲートタワーカンファレンス) (5) 第10回日本SC大賞・第8回地域貢献大賞ノミネート委員会(8月～11月)
近畿支部	(1) 支部総会・SCフォーラム・懇親会(2025年3月12日) (2) 運営委員会(第1回:7月24日、第2回:12月11日) (3) SC 接客ロールプレイングコンテスト近畿大会(10月15日～18日/ホテル京阪京橋) (4) SC 研究推進委員会(第1回:4月18日、第2回:7月24日、第3回:12月11日、第4回:2月20日) (5) SC 研究会(研修・視察等) (第1回:9月下旬頃、第2回:10月中旬頃、第3回:2月下旬頃) (6) 第10回日本SC大賞・第8回地域貢献大賞ノミネート委員会(8月～11月)
中国・四国支部	(1) 支部総会・記念講演会・懇親会(2025年3月) (2) 運営委員会(第1回:7月・第2回:12月・第3回:3月) (3) 視察・セミナー(7月・12月) (4) SC 接客ロールプレイングコンテスト中国・四国大会(11月21日・22日 おかやま未来ホール) (5) 第10回日本SC大賞・第8回地域貢献大賞ノミネート委員会(8月～11月)
九州・沖縄支部	(1) 支部総会・研修会・懇親会(2025年3月上旬～中旬) (2) 運営委員会(7月上旬) (3) 秋の視察研修会・懇親会(11月上旬) (4) SC 接客ロールプレイングコンテスト九州・沖縄大会(9月26日・27日 西鉄ホール) (5) 第10回日本SC大賞・第8回地域貢献大賞ノミネート委員会(8月～11月)

## IV 委員会事業計画

### 1. 総務・会員委員会

#### 1. 2024 年度 基本方針

- (1) 会員サービスの向上に努め、会員数 940 社とする
- (2) 人材確保対策への取り組みの推進
- (3) 2024 中期運営計画(2024～27 年度)の策定と実施
- (4) 支部、委員会、SC 経営士会の各事業の進捗状況の把握および総合調整
- (5) 2024 年度予算管理の徹底
- (6) 公共政策ワーキングでの公共政策に関する情報収集、税制等の各種要望・周知活動などの実施
- (7) 環境ワーキングでの新たな環境目標の設定などの実施
- (8) 会員相互のネットワーク構築支援

#### 2. 事業計画(骨子)

##### 【1】人材確保対策特別委員会

- (1) ES宣言・行動指針に基づく取り組みの推進  
2018年に策定したES宣言等について、ディベロッパーとテナントの意見交換会等の成果を踏まえて、今後の取り組みを取りまとめて発信するとともに、実現に向けた継続的フォローを実施する。  
また、ウェルビーイング研究会の進め方について、再整理を行う。
- (2) 業務効率化に資するテクノロジー活用事例の収集と発信  
人材確保(人手不足をヒトで補う)の観点と並行して、業務効率化に資する最新技術(人手不足をデジタル等で代替する)の観点にも着目し、先進事例の収集と水平展開を行う。
- (3) 当委員会の従来の実業の継続実施  
ES・人材確保に関する定量調査を行い、その調査結果を会員間共有や対策立案に役立てるほか、各専門委員会と連携してSCにおけるESや働き方改革への取り組みを推進する。

##### 【公共政策ワーキング】

2024年度は税制等改正要望に向けた業界課題の洗い出しと要望事項の取りまとめを行うとともに、要望実現のための各種意見交換等を行う。また、SC業界に影響の大きい法改正等があった場合は、関係省庁の担当者を講師とした法律説明会を開催し、会員企業への周知や取り組み支援を行っていく。その他、年度中に生じた各種課題について業界対応方針等の検討が必要になった場合は、都度ワーキンググループにおいて議論を行う。

## 【環境ワーキング】

### 1) 低炭素社会実行計画における新たな業界目標の策定

経済産業省が主導するカーボンニュートラル実行計画に係るSC業界目標について、ワーキンググループでの議論を通して見直しを行う。

### 2) SCにおけるエネルギー量実態調査の実施(2023年度実績対象)

2013年から当協会が参画している「カーボンニュートラル実行計画」の2030年目標について、今年度もフォローアップ調査を実施する。

## 【2】会員増強について

会員各位の協力を仰ぎながら、様々な施策を行い、2024年度末の会員数は940社を目指す。

- SC ビジネスフェア 2024 出展者および来場者に、次回の開催案内と併せて、アプローチを行う。
- SC ビジネスフェア 2025 の来場者登録時に、協会案内の希望の有無を設問に含め、希望者に案内する。
- 支部研修会(懇親会含む)において、会員紹介があった場合、会員外企業の参加を許可し、協会活動を体感していただく機会を創出する。
- SC ビジネスミーティング(会員による事業提案・オンライン開催)を行う。

## 2. 人材育成委員会

### 1. 2024年度 基本方針

人材育成委員会は、研修会（セミナー）やSC接客ロールプレイングコンテスト、SC接客マイスター検定、SCアカデミー、通信教育講座、海外研修会、SC経営士試験や更新講習、冠講座の企画、出版物『SCマネジメントブック』や『テナントスタッフハンドブック』などを所管する委員会で、SC業界の人材育成を担っている。

2024年度は、引き続きSCの現場で起きている課題や業界における課題の解決に寄与するセミナーなどの充実を図りながら、“SC業界の人材育成”に努めていく。また、SC業界全体の裾野を広げる役割を担う“冠講座”はSC経営士会との連携のもと、カリキュラムや講師選定の準備を進めていく。

SC接客ロールプレイングコンテストについては、30回記念大会を迎えるため、競技者、見学者にとって有意義なイベント等を企画していく。

### 2. 事業計画(骨子)

#### (1) セミナー

初心者・初級者向けの基本セミナーおよび中堅向けセミナーを充実させ、テナント向けセミナーを増強し、SCの現場で起きている課題や業界における課題の解決に寄与するセミナーを企画・推進していく。

具体的には、協会会員でSCに特化した研修を行うコンサルタント会社やSCの専門知識を有するSC経営士を講師にするなど、SC協会ではできない“SC業界の人材育成”を念頭に置いたセミナー企画を行っていく。

また、ライブ配信を試行するなど新しい受講形態も模索していくため、受講料の改定を行う。

#### (2) SC接客ロールプレイングコンテスト

2024年度は30回記念大会を迎えるため、競技者、見学者にとって有意義なイベント等を企画していく。

#### (3) SC接客マイスター検定

SCテナントスタッフのステータス向上を目的に創設した「SC接客マイスター」制度は引き続き、認知度、価値の向上に努める。

#### (4) 海外研修会

2024年度も、現地の治安かつ邦人渡航客の安全が確認できる地域を選定し、現地SCの営業状況および金融情勢を鑑みつつ視察内容の調整を進める。

なお、予定している催行時期、訪問地域は以下のとおり。

- 1) 催行時期:2024年11月/訪問地域:米国/キーワード:ギャザリングプレイス、サードプレイス
- 2) 催行時期:2025年2月/訪問地域:欧州/キーワード:まちづくり

#### (5) 通信教育講座(SC開発講座、SC管理運営講座)

主に新入社員や入社(SC業務歴)5年以内の方、基本を再確認したい方々を主な対象として、SC開発およびSC管理運営の基本を学んでいただいている。

2023年度より演習問題および修了レポートのオンライン化がスタートしており、引き続き、受講者ニーズに沿った運用に努めていく。

#### (6) SCテナントスタッフハンドブック

前回の改訂(2015年6月)よりコロナ禍を経て約8年が経過しているため、内容の精査を行い、具体的な改訂を検討する。



- (7) SC マネジメントブック  
前回の改訂（2016年11月）よりコロナ禍を経て約7年が経過しているため、内容の精査を行い、具体的な改訂を検討する。
- (8) サポート関連（研修講師派遣）  
今後は会員相互のマッチング業務の一環として紹介を行い、会員サービスに努める。
- (9) SC アカデミー
- 1) 前年と同様にオンラインを活用しながら、全国規模で遠隔地の方でも受講しやすい環境を提供する。
  - 2) 今期（第18期<2024年度>）も、「合宿研修」、「SC総論Ⅰ」、「SC総論Ⅱ」、「SC経営実践論」、「特別演習」、「特別講義」、「ゼミ」を継続する。
  - 3) 今後に向けて、現在のカリキュラムや進め方などを精査し、改善を図る。
- (10) 冠講座  
2024年度の実施予定なし。  
SC経営士会との連携のもと、2025年度に向けて準備を進める。  
（2025年度内定） 国士館大学
- (11) SC経営士試験関連について  
引き続き、現行の試験制度の課題を整理しながら、将来のSC業界のリーダー的役割を担う「SC経営士」（現在および将来のSC経営やSC業界、地域社会の発展に貢献できる資質を持った方）の育成を目的に試験内容のさらなる充実を図る。
- (12) SC経営士資格 登録更新講習
- 1) 2024年度登録更新について  
2023年度と同様に、講習は年2回、会場参加とオンライン参加（Zoom）を併用する。  
講習の内容については、引き続きSC経営士会が企画・立案を行う。
  - 2) 2024年度登録更新対象者数  
2024年度SC経営士登録更新対象者数は190名を予定。

## 2024年度セミナースケジュール

日	曜	セミナー名	開催方法	開催	分類	
4	18	木	SCの基礎を学ぶセミナー ※旧「フレッシュヤーズセミナー」	会場開催	東京	A.基本
4	24	水	SC基本管理運営セミナー（1日目）	会場開催	東京	A.基本
4	25	木	SC基本管理運営セミナー（2日目）	会場開催	東京	A.基本
			SC基本管理運営セミナー（4/24.4/25 2日分）	アーカイブ配信	WEB	A.基本
5	9	木	マーケティングの基礎を学ぶセミナー	会場開催	東京	A.基本
5	15	水	SC基本開発セミナー（1日目）	会場開催	東京	A.基本
	16	木	SC基本開発セミナー（2日目）	会場開催	東京	A.基本
			SC基本開発セミナー（5/15.5/16 2日分）	アーカイブ配信	WEB	A.基本
5	22	水	今知りたい！ ショップスタッフマネジメントセミナー（※アーカイブ配信はございません）	会場&リモート	(ZOOM)	A.基本
5	24	金	ディベロッパー向けSC出店契約書作成セミナー	会場開催	東京	A.基本
6	4	火	SCテナントリーシングの基礎を学ぶセミナー	会場開催	東京	A.基本
			SCテナントリーシングの基礎を学ぶセミナー 6/4収録分	アーカイブ配信	WEB	A.基本
6	6	木	「SCのテナント管理」～これだけは知っておきたい、SC営業担当者の心得、あるべき姿勢～	会場開催	東京	A.基本
6	13	木	SC契約実務セミナー	会場開催	東京	A.基本
6	27	木	SC施設管理の基礎を学ぶセミナー	会場開催	東京	A.基本
7	2	火	リーダーシップ論（SCマネージャーの役割）	会場開催	東京	C.中堅向け
			リーダーシップ論（SCマネージャーの役割）7/2収録分	アーカイブ配信	WEB	C.中堅向け
7	11	木	最新SC情報セミナー（春開業編）	会場開催	東京	★.事例研究
7	17	水	緑陰トップフォーラム	会場開催	東京	D.経営者向け
7	18	木	危機管理対策セミナー（防火防災編）	会場開催	東京	A.基本
7	25	木	内容調整中	会場開催	東京	C.中堅向け
			内容調整中 7/25収録分	アーカイブ配信	WEB	C.中堅向け
8	1	木	SC販促・イベントセミナー	会場開催	東京	B.ステップアップ
8	21	水	SC運営業務のステップアップ（1回目/全6回）	会場開催	東京	B.ステップアップ
8	22	木	SDGsセミナー	会場開催	東京	C.中堅向け
8	28	水	SC運営業務のステップアップ（2回目/全6回）	会場開催	東京	B.ステップアップ
9	4	水	SC運営業務のステップアップ（3回目/全6回）	会場開催	東京	B.ステップアップ
9	11	水	SC運営業務のステップアップ（4回目/全6回）	会場開催	東京	B.ステップアップ
9	18	水	SC運営業務のステップアップ（5回目/全6回）	会場開催	東京	B.ステップアップ
9	25	水	SC運営業務のステップアップ（6回目/全6回）	会場開催	東京	B.ステップアップ
10	22	火	SC基本管理運営セミナー（1日目） 大阪	会場開催	大阪	A.基本
10	23	水	SC基本管理運営セミナー（2日目） 大阪	会場開催	大阪	A.基本
11	19-20	火-水	秋晴れトップフォーラム	会場開催	未定	D.経営者向け
11	25	月	SC収支計画策定セミナー	会場開催	東京	A.基本
			SC収支計画策定セミナー 11/25収録分	アーカイブ配信	WEB	A.基本
11	27	水	SC顧客戦略セミナー【マーケティングセミナー応用編】	会場開催	東京	C.中堅向け
			SC顧客戦略セミナー【マーケティングセミナー応用編】 11/27収録分	アーカイブ配信	WEB	C.中堅向け
12	11	水	SCリニューアルセミナー	会場開催	東京	★.事例研究
12	12	木	テナント向けSC法律セミナー	会場開催	東京	A.基本
1	9	木	最新SC情報セミナー（秋開業編）	会場開催	東京	★.事例研究
2	6	木	テナント向けセミナー	会場開催	東京	A.基本
			テナント向けセミナー 2/6収録分	アーカイブ配信	WEB	A.基本
2	13	木	SCテナント分析とコミュニケーション手法	会場開催	東京	A.基本
2	20	木	SCリニューアルセミナー（飲食ゾーン編）	会場開催	東京	★.事例研究
2	27	木	BCP策定手法を学ぶセミナー	会場開催	東京	C.中堅向け
3	5	水	危機管理対策セミナー（食の安全管理編）	会場開催	東京	A.基本
3	6	木	「退店問題対応セミナー」	会場開催	東京	A.基本
3	13	木	DV向けDXセミナー	会場開催	東京	A.基本
			DV向けDXセミナー 3/13収録分	アーカイブ配信	WEB	A.基本
3	28	金	空き区画活用セミナー	会場開催	東京	★.事例研究
			巡回業務のポイントを学ぶセミナー（WEB配信のみ）	アーカイブ配信	WEB	A.基本
			テナント店長の業務を支える最高のサポート方法（WEB配信のみ）	アーカイブ配信	WEB	A.基本

A：基本編…新入社員や業界未経験の方を対象にSCの基礎を学んでいただくセミナー

B：ステップアップ編…担当になって3～5年目くらいの方を対象にステップアップにつなげていただくセミナー

C：中堅向け…主にSCマネージャーの方、中堅クラスの方を対象としたセミナー

D：経営者向け…主に経営者の方を対象としたセミナー

★：事例研究…SCの最新事例や話題の事例で構成するセミナー

## 3. 情報委員会

### 1. 2024年度 基本方針

情報委員会は、月刊誌「SC JAPAN TODAY」(以下、月刊誌)や協会WEBサイト、メールマガジンなどの媒体の発行・運営、広報活動などを所管する委員会であり、SC業界および当協会の情報発信の中心的役割を担っている。

2023年度は、コロナ禍の収束に伴い経済活動が本格的に再開すると同時に、海外からも多くの外国人観光客が日本を訪れた。SCにおいても、リアルの場を生かしたさまざまな施策が再開・展開されたほか、SCの月次販売では一時、コロナ禍前の2019年の水準を回復する場面もあった。一方で、不安定な社会情勢、歴史的な円安、人口減少などを背景とした、インフレ、人手不足、さまざまな価格の高騰などがSCや店舗の運営・開発にも大きなインパクトを与えた。

2024年度はこうした状況が続くと思われることに加え、2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」に伴う復旧復興、物流・建設でさまざまな制限がかかることが予想される「物流・建設の2024問題」なども課題である。

こうした状況下で、月刊誌などを通じて会員が具体的な施策を検討する際に参考となる情報を積極的に発信していくとともに、基幹媒体である月刊誌の機能強化も引き続き議論を進める。また、広報の面においては、積極的に業界・協会の取り組みを発信していくとともに、会員企業の情報発信の支援にも取り組む。

### 2. 事業計画(骨子)

#### (1)会員企業の事業に役立つ専門情報

月刊誌では、「トレンド・新潮流」「課題」「SCとしての使命」を軸として、時流に即した特集を企画し、先進企業事例や専門家による解説など、会員が具体的な施策を検討する際に参考となる情報を発信する。

#### (2)月刊誌の機能強化と価格の見直し

委員会にて検討を進めている月刊誌の機能強化については具体化を加速させる。さらに、昨今の原材料や人件費、物流費などの価格高騰への対応、月刊誌の持続可能な発行(会員への情報発信)を見据え、月刊誌の価格(販売、広告含め)も見直す。

#### (3)業界・協会の取り組みの積極的発信

定例記者懇談会やプレスリリース、月刊誌などでSC業界・協会双方の取り組みを積極的に取り上げて業界内外に発信することで、業界全体の魅力向上に努める。

#### (4)会員企業の情報発信の支援

会員企業の情報発信の支援策として、媒体を通じての情報発信に加え、会員企業とメディア関係者との交流事業を検討する。

## 4. 調査研究委員会

### 1. 2024 年度 基本方針

調査研究委員会では、「国内外SCおよび流通全般にわたる調査および実情把握、情報提供」、「経営支援情報等、当面の課題に対する調査研究」、「各国のSC関連団体との交流」を軸に活動を行っている。

2024 年度は、基本調査である「SC販売統計調査」および「SC賃料・共益費実態調査」を着実に実施していくとともに、2023 年度にとりまとめた「SC取扱い基準」の改定案の機関決定およびその後のデータ整備に向けた準備を進める。

また、2023 年度に協会 WEB サイトに新設した「統計データベース」について、段階的に整備を進めていく。さらに、SCの売上や賃料に関する調査の精度向上、国内外のSC情報の発信強化にも引き続き努める。

### 2. 事業計画(骨子)

#### (1) SC取扱い基準の改定案に基づくデータ整備

近年の商業施設開発動向の変化を踏まえ、2023 年度に WG を設置し、「SC取扱い基準」の改定案をとりまとめた。2024 年度は改定案の機関決定およびその後のデータ整備に向けた準備を進める。

#### (2) 海外情報の発信

国内のSCが課題を解決するにあたって参考となるような最新の海外情報を提供するため、協会WEBサイトで会員向けに発信する。

#### (3) 「統計データベース」の整備

これまで蓄積してきた各種統計データを協会 WEB サイト上で検索し、データをダウンロードして資料作成などに活用することができる「統計データベース」を 2023 年度に新設した。引き続き整備を進めていく。2024 年度は、現在、立地区分改定後の 2016 年 1 月以降のデータを掲載している「SC販売統計調査」について 2010 年 1 月～2015 年 12 月分まで遡って掲載する。また現在、協会会員のみ閲覧できるが、SC業界の認知度向上のため、一般の方も閲覧できるようにする。ただし、CSVダウンロードは引き続き会員限定とする。

#### (4) SC販売統計調査

SC販売統計調査は、月次、四半期、上半期、下半期、年間調査を着実に実施する。精度向上のため、地域による偏りをなくすなどサンプル構成の適正化を考慮してサンプルを増やす。

#### (5) SC賃料・共益費実態調査 2024

契約形態別(個別徴収、総合賃料・賃料名目一本化)にて、月坪賃料、月坪共益費、総合賃料を調査する。SC販売統計調査と同様に、精度向上のためサンプルを増やす。調査結果の概要は月刊誌に掲載し、調査の認知度向上を図る。また、CD-ROM を制作せずにデータをメールで送信する販売方法に切り替える。

(6) 『SC白書 2024』の発刊

国内外のSC業界の2023年の動向を記載し、協会WEBサイトにて公開し、SC業界動向を広く周知する。なお、これまで毎年、当協会の定期総会開催日を発行日としてきたが、開催日は年によって半月ほどずれることがあることから、『SC白書 2024』からは原則として毎年6月1日を発行日とする。

(7) SCオープン、計画情報およびSC基礎データ一覧の更新

SCの新規オープン情報に加えて、会員に向けてSCの開発計画(月次)ならびに全国のSCの基礎情報(年1回・6月)を発信する。新規オープンSCについては、協会WEBサイトでの施設紹介のほか、定例記者懇談会(夏季・冬季)を通じて、特徴などを紹介する。

## 5. 全国大会実行委員会

### 1. 2024年度(第49回大会)基本方針

SCビジネスフェアは、『出会い、発見、チャンス、そして未来へ。』をスローガンに、SC業界に携わる企業、関係者にビジネスチャンスの場を提供している。

第49回日本ショッピングセンター全国大会/SCビジネスフェア2025は、原点である「ビジネスチャンスの創出」を軸に、テナント企業をはじめ新規出展企業の誘致を行うとともに、セミナーでは大きな岐路にあるSC業界に向けたコンテンツを発信していく。

また、2026年に迎える第50回日本ショッピングセンター全国大会(SCビジネスフェア2026)開催に向けて、SCビジネスフェアの一層の価値向上を目指した企画検討に着手する。

### 2. 事業計画(骨子)

#### (1) 第49回日本ショッピングセンター全国大会概要

会期	2025年1月22日(水)～24日(金)
会場	パシフィコ横浜
参加者	会員を中心としたSCディベロッパー、テナント、サポート企業、官庁、関連団体、学生
主催	(一社)日本ショッピングセンター協会
後援	経済産業省、国土交通省、農林水産省、横浜市、日本経済新聞社、 織研新聞社、産業タイムズ社(順不同)
協賛	日本商工会議所/日本小売業協会/全国商工会連合会/日本百貨店協会/ 日本チェーンストア協会/日本専門店協会/日本フランチャイズチェーン協会/ 全国スーパーマーケット協会/日本ボランタリーチェーン協会/ 日本スーパーマーケット協会/日本フードサービス協会/日本チェーンドラッグストア協会/ 全国地下街連合会/不動産協会/日本ビルディング協会連合会/ 全国商店街振興組合連合会/協同組合連合会日本専門店会連盟/ 商業施設技術団体連合会/日本商環境デザイン協会/流通システム開発センター/ 再開発コーディネーター協会(順不同)
特別協賛	数社(SCビジネスフェア出展者、セミナー登壇企業、SC協会会員企業等)

#### ●SCビジネスフェア2025 (SCビジネスフェア、セミナー)

会期 2025年1月22日(水)～24日(金)  
会場 パシフィコ横浜 展示ホールC・D、  
アネックスホール  
内容 SC業界をとりまく多彩な企業がブースを構  
えるSC業界唯一の商談展示会。展示ホ  
ールでは出展ブースのほか、無料セミナー、ピ  
ッチイベントを併催。アネックスホールでは有  
料セミナー、賀詞交換会を兼ねた懇親パー  
ティーを開催。初日は、展示ホールコンコー  
スにて、オープニングテープカットを行う。

#### ●第30回SC接客ロールプレイングコンテスト 全国大会

会期 2025年1月24日(金)  
会場 パシフィコ横浜 会議センター  
内容 支部大会を勝ち抜いた接客のスペシャリス  
トが集い、“SC接客日本一”を決定するSC  
業界テナントスタッフ対象のロールプレ  
イングコンテスト。大賞受賞者には経済産業大  
臣賞が贈られる(予定)。

## (2) SCビジネスフェア 2025 事業計画骨子

### 1) SCビジネスの研鑽と交流の場の創出強化

小間レイアウトの工夫をはかり、スペースの有効活用を進め、出展企業の増加を図る。  
また、SCビジネスフェアの周知を強化し、来場者増を目指す。

### 2) テナント企業等に向けた出展プランの策定

申込から出展にかかる費用のパッケージ化等わかりやすい仕組みをつくり、テナント企業をはじめ新規出展企業の誘致を進める。

### 3) 時勢を捉えたコンテンツの充実を図る

- ① シンポジウム・セミナーについては、SC業界の課題解決やSCの将来像を示す内容を軸とし、主な聴講者であるSC関係者の興味関心が高いテーマとし、それに相応しい講師を選定・依頼する。
- ② チャレンジピッチ(ビジネスコンテスト)については、創設目的であるSCの未来に向けた「スタートアップ企業等とSC事業者とのマッチング」を促進すべく、第3回の開催方法等を検討する。

## (3) 料金の改定について

昨今、急激に会場費、委託費等のコストが上がっており、また SC ビジネスフェアの出展料が他展示会と比べて半額程度であることから、出展料の改定を行い、協会の収益基盤を支える事業として、収支の安定化を図る。なお、出展者を増やしたいテナント企業とインキュベートブース(これからSCに出店するあるいはSC出店直営店舗数 5 店舗以下の専門店)については価格を据え置き、テナント企業以外の出展料を現行の1割増に改定。会員外価格については、他協会サービスにおける会員外価格と同様の割合(会員価格の 1.4 倍)にする。また、アネックスホールでの有料プログラムについても、コストが上昇していることから、パーティーと1日券の参加料を1割増に改定する。なお、セミナーのみについてはプログラムの変更を予定しているため価格を据え置く。

## 6. デジタルトランスフォーメーション委員会

### 1. 2024 年度 基本方針

デジタルトランスフォーメーション委員会は、SC における業務効率化・生産性向上など、持続的成長のための様々な課題解決に向けて、ニューテクノロジーの活用支援、DX 推進に取り組みやすい環境の整備、DX に取り組む機運の醸成、DX 活用による会員企業の更なる事業展開に寄与することを目的としている。具体的には、「EX(従業員体験)×協調領域」は重点テーマとして『「売上報告／売上管理」の効率化・生産性向上』を設定し、ワーキンググループで課題の深堀と解決策について検討を進めてきた。

2024 年度は、売上報告業務の標準化案の発信・普及に取り組むとともに、デジタル化の実現に向けた検討体制構築と議論に着手する。また、業界全体への取り組みの周知・解決機運の加速を図る取り組みも継続して実施していく。

加えて、売上報告業務効率化以外の業界共通課題について、他の専門委員会とも連携しながら課題抽出を行い、解決策の検討に着手する。

「CX(顧客体験)×競争領域」は、2021 年度から開始したDX勉強会の継続を通して、業界のDX人材育成に寄与し、SC業界でのDX推進、CX向上を図る。また幹事団による企画・運営体制を強化し、業界ニーズに即したテーマを引き続き取り上げていく。

### 2. 事業計画(骨子)

#### 1) 「売上報告／売上管理」の効率化・生産性向上

売上報告業務の標準化案について、提言書の作成や各種会議体・媒体を活用した普及・浸透活動を行い、業務標準化による SC 現場の負担軽減を目指す。また、デジタル化の実現に向けてシステム開発企業等を交えた検討体制の構築を行い、実装に向けた議論に着手する。

また、定期総会やSCビジネスフェア等をはじめ業界全体への発信ができる場を活用して、取り組みの周知・解決機運の加速を図る活動を継続して行う。

#### 2) 業務効率化に資するテクノロジーの活用推進

EX×協調領域において、売上報告業務効率化以外の業界共通課題について、人材確保対策特別委員会をはじめ他の委員会と連携し、まずは課題抽出を行い、解決策検討に向けた議論に着手する。

#### 3) DX勉強会の実施

2024 年度は 3 回のDX勉強会を開催し、引き続きSC業界のDX人材育成に寄与する。委員企業による幹事団制を継続・強化し、会員ニーズに即した企画を行っていく。

講演会形式のほか、視察やワークショップ等多様な形態も検討し、内容の充実を図る。



## 7. 第 10 回日本 SC 大賞・第 8 回地域貢献大賞選考委員会

### 1. 基本的な考え方

日本 SC 大賞は、協会設立 30 周年を記念して 2004 年に創設された賞で、基本的に 2 年に一度、選考と表彰を行っている。2024 年度は「日本 SC 大賞・地域貢献大賞」の選考年になるため、選考委員会を設置する。

2023 年度に総務・会員委員会で取りまとめたスケジュールや変更点等を踏まえて実施要綱を策定する。なお同時に選考する「地域貢献大賞」については、選考基準が「地域貢献ガイドライン(2007 年策定。2020 年改訂)」に沿ったものであるため、従来どおり選考を行う。

### 2. 事業計画(骨子)

#### (1) スケジュール

	実施項目	
2024 年	5 月 30 日	第 52 回定期総会にて事業計画を審議 「第 10 回日本 SC 大賞・第 8 回地域貢献大賞」実施のニュースリリース配信
	6 月上旬	[第 1 回選考委員会]開催
	6 月中旬～下旬	ノミネート委員長(支部長)会議にて実施要綱等を報告
	7 月中旬～8 月	「第 10 回日本 SC 大賞・第 8 回地域貢献大賞」応募受付
	8 月～11 月中旬	各支部において[ノミネート委員会]を設置し支部ノミネートを行う < 第一次選考 >
	11 月中旬	各支部ノミネート委員会において支部ノミネート SC 決定、本部選考委員会に提出
	12 月中旬	[第 2 回選考委員会]で最終ノミネート SC の選出 < 第二次選考 >
2025 年	1 月上旬～2 月	最終ノミネート SC のヒアリングおよび現地調査
	3 月上旬	[第 3 回選考委員会]で「第 10 回日本 SC 大賞・第 8 回地域貢献大賞」を各賞(案)決定
	3 月下旬	2024 年度第 2 回企画会議にて各賞内定
	4 月	2025 年度第 1 回理事会にて各賞決定 「第 10 回日本 SC 大賞・第 8 回地域貢献大賞」受賞 SC ニュースリリース配信
	5 月	第 53 回定期総会后、受賞 SC 表彰式

#### (2) 選考対象・評価期間

2023 年 12 月末までにオープンした 3,092 SC を対象とする。評価期間は 2022 年 7 月～2024 年 6 月までの活動について総合的に評価する。

#### (3) 主な変更点等(具体的な対応は第 1 回選考委員会にて決定)

##### 1) 日本 SC 大賞の評価項目の見直し

評価項目の「マーケティング、テナントミックス、ブランディング」を『マーケティング』に集約し、次の 5 項目とする。①マーケティング、②DV と TN とのパートナーシップ形成度、③顧客サービス、④サステナビリティの取り組み、⑤地域への貢献と共存

##### 2) 部門賞

①日本 SC 大賞から独立させ、部門賞単体での応募(自薦)を可とする。なお、日本 SC 大賞、地域貢献大賞との併願エントリーも可とする。

②ニューフェイス賞は、支部ノミネート委員会で第一次選考を行う(前々回の選考に戻し、支部ノミネート時に、該当がない場合は該当無しとする)。

##### 3) 応募(自薦)書類の簡素化(文字数制限等を行うが、内容の質は維持する)を行う。

4) 過去の日本 SC 大賞金賞および地域貢献大賞(倉橋良雄賞)の受賞 SC は、受賞実績を尊重して殿堂入りとする。

5) 選考委員会で検討した結果、上記のほかに変更点があった場合は実施要項にて案内する。

## 8. SC経営士会

### 1. 2024 年度 基本方針

2023 年度は新型コロナウイルス感染症拡大から回復しつつあり、SC業界においても明るい兆しが少しずつ見えてきた。そして当協会創立 50 周年という節目の年であり、SC経営士会においても、新しい取り組みやリアルでの事業が行われた。

2024 年度は、創立 50 周年記念事業から継続すべきものを明確にし、新しい取り組みにチャレンジしていく。とくに、各専門グループおよび各ブロックの活動を通じて、デジタル等の時代変化を受け入れながらSCの「徹底的なリアルの価値向上」に努める。

また、当協会が 2024 年度基本方針に掲げる主要課題の 1 つである「変化の激しい時代のSC運営をリードする人材の育成」において、SC経営士会が重要な役割を担い、早期に、より一層のSC経営士会の運営価値向上を図ることで、研鑽・研究の場と情報交換の場を提供していく。これらの結果がSC経営士の増加とSC業界の人材育成に繋がり、協会会員数の増強やSC業界の価値向上に寄与すると確信している。

2024 年度もSC経営士会のミッションである協会のシンクタンクの役割を担い、SCの未来像確立に向け邁進していく。

### 2. 事業計画(骨子)

上記の基本方針を受けて、各専門グループおよび各ブロックが、2024 年度も積極的に活動していく。

#### (1) 研鑽・研究グループ

- 1) 例会および相互研鑽のための新たな研修会等の企画・実施
- 2) SC経営士更新講習の企画
- 3) 人材育成委員会からの依頼に基づく研修会の企画・実施への参画
- 4) 研究活動

2021～2023 年度の研究テーマに対する SC 経営士全体での検討、および SC の未来像に対する具体提案促進

#### (2) 業務広報グループ

- 1) 人材育成委員会からの依頼に基づく冠講座の企画・実施
- 2) SC経営士会【THE CIRCLE】の企画・作成
- 3) 若手・中堅 SC 経営士交流会の企画・開催
- 4) 年次ゼネラルミーティングの企画・運営
- 5) SCビジネスフェア 2025 SC経営士会セミナーの企画・運営
- 6) SCビジネスフェア 2025 SC経営士会コーナーの企画・運営

### (3) ブロック活動

- 1) SC経営士相互の交流を促進するための行事についての企画・実施
- 2) 例会への企画提案および例会運営への協力業務
- 3) ブロック内における各種研修会等の企画・実施  
(SC経営士が参加しやすいように、行事の開催時期の相互調整を行う)

### (4) 徹底的なリアル価値向上への取り組み

SC経営士会の各種事業やSC協会事業への参加意識を向上させるため、リアルならではのものは何かをつねに考えの中心において提案しSCの未来像を研究していく。そして、SC経営士会を各企業の枠を超えての情報交換の場(リアルのコミュニティ)として情報の共有化に努める。

### (5) 協会会員の募集

SC経営士会として日本SC協会の会員募集を行う。